

# 令和3年(2021年)新規就農者実態調査結果の概要

## 1 調査方法

令和3年1月1日から同年12月31日までの間における道内の新規就農者の実態を把握するため、各(総合)振興局が市町村、農業委員会等の協力を得ながら調査したものを道農政部技術普及課が取りまとめた。

## 2 調査結果概要

### (1) 新規就農者数【表1】

- 令和3年における道内の新規就農者総数は477人となった。  
これまでは概ね600人程度で推移していたが、近年は500人を下回っている。

### (2) 就農者別の内訳【表1】

- 新規就農者全体のうち新規学卒者が3割、Uターン就農者が4割、新規参入者が3割弱となっている。
- 24年度に始まった農業次世代人材投資資金(旧青年就農給付金)の活用などにより、近年、新規参入者数は110人~120人程度で推移している。

### (3) 振興局別の内訳【表2】

- 新規就農者全体では、十勝(101人)、空知(80人)、オホーツク(76人)、上川(62人)、が多く、4振興局で全体の7割弱を占める。
- 新規参入者は上川(25人)、後志(22人)、石狩(12人)が多くなっている。

【表2】 総合振興局及び振興局別内訳

区 分		空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	合計
合計	R3	80	26	33	23	19	9	8	62	8	9	76	101	10	13	477
	R2	70	22	36	23	17	16	6	68	11	9	52	106	11	27	474
	増減	10	4	▲3	0	2	▲7	2	▲6	▲3	0	24	▲5	▲1	▲14	3
新規学卒	R3	22	2	6	4	4	0	1	10	2	3	44	38	5	5	146
	R2	16	2	4	4	3	3	0	23	1	2	23	48	1	5	135
	増減	6	0	2	0	1	▲3	1	▲13	1	1	21	▲10	4	0	11
Uターン	R3	50	12	5	10	5	5	5	27	5	2	21	53	0	3	203
	R2	40	10	8	7	6	3	5	30	10	2	25	50	2	15	213
	増減	10	2	▲3	3	▲1	2	0	▲3	▲5	0	▲4	3	▲2	▲12	▲10
新規参入	R3	8	12	22	9	10	4	2	25	1	4	11	10	5	5	128
	R2	14	10	24	12	8	10	1	15	0	5	4	8	8	7	126
	増減	▲6	2	▲2	▲3	2	▲6	1	10	1	▲1	7	2	▲3	▲2	2

【令和4年(2022年)11月1日公表】

【表1】 新規就農者数の推移

(単位:人、割合:%)

年次	新規就農者数				合計
	新規学卒就農者	Uターン就農者	新規参入者	うち農家出身	
H24	223	312	91	8	626
25	230	285	88	14	603
26	204	283	125	21	612
27	189	274	126	21	589
28	181	268	117	27	566
29	193	251	125	15	569
30	187	225	117	14	529
R1	151	191	112	13	454
2	135	213	126	14	474
3	146	203	128	15	477
割合	30.6	42.6	26.8	-	100.0

(各年の数値には、過年度の未報告分を含んでいる場合がある。)

《新規就農者の区分》

- ・新規学卒就農者：農家出身者で学校を卒業後直ちに、又は、卒業後に研修を経て就農した者
- ・Uターン就農者：農家出身者で他産業に従事した後、就農した者
- ・新規参入者：農外から新たに就農した者

### (4) 経営形態別の内訳【表3】【表4】

- 経営形態別には、畑作が全体の3割強で最も多く、次いで稲作が2割となっておりこの2形態で全体の5割強を占める。
- 新規参入者は、初期投資が少なくて済むことなどから、特に野菜による就農が近年増加傾向にあり最も多い就農形態。  
一方、稲作や畑作は、農家出身者(新規学卒、Uターン)による就農が主体。

【表3】経営形態別新規就農者数

(上段:人、下段:対合計%)

区 分	稲作	畑作	野菜	果樹	花き	酪農	肉牛	養鶏	養豚	軽種馬	その他	不明	合計
R3	105	158	91	18	4	78	17	0	1	2	3	0	477
	22.0	33.1	19.1	3.8	0.8	16.4	3.6	0.0	0.2	0.4	0.6	0.0	100.0
新規学卒	24	73	19	0	0	25	3	0	0	0	2	0	146
	16.4	50.0	13.0	0.0	0.0	17.1	2.1	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	100.0
Uターン	75	76	18	0	2	27	5	0	0	0	0	0	203
	36.9	37.4	12.1	0.0	1.0	13.3	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
新規参入	6	9	54	18	2	26	9	0	1	2	1	0	128
	4.7	7.0	42.2	14.1	5.3	20.3	7.0	0.0	0.8	1.6	0.8	0.0	100.0
R2	104	140	88	16	4	98	14	2	1	2	5	0	474
	21.9	29.5	18.6	3.4	0.8	20.7	3.0	0.4	0.2	0.4	1.1	0.0	100.0

【表4】経営形態別新規参入者数

(上段:人、下段:%)

区 分	稲作	畑作	野菜	果樹	花き	酪農	肉牛	養鶏	養豚	軽種馬	その他	不明	合計
累計(S45~R3)	118	259	920	188	132	777	136	29	24	46	101	3	2,733
	4.3	9.5	32.5	6.9	4.8	28.4	5.0	1.1	0.9	1.7	3.7	0.1	100.0
直近5年間(H29~R3)	22	57	281	53	18	121	27	6	2	7	16	0	610
	3.6	9.3	46.1	8.7	3.0	19.8	4.4	1.0	0.3	1.1	2.6	0.0	100.0

### ◆ 振興局別の主な内訳(参考)

- ・新規学卒者  
畑作：ホーツク(34人)、十勝(31人)、酪農：十勝(6人)、稲作：空知(15人)
- ・Uターン就農者  
稲作：空知(37人)、上川(19人)、畑作：十勝(36人)、ホーツク(13人)、酪農：十勝(15人)
- ・新規参入者  
野菜：上川(16人)、後志(9人)、酪農：ホーツク、十勝、根室(各5人)  
果樹：後志(10人) など

(5) 就農時年齢別の内訳【表5】【表6】

- Uターン就農者は、40歳未満が8割強、30歳未満が4割強を占めており、若い年齢層が中心となっている。
- 新規参入者は、40歳未満が5割強で、近年は、30歳未満の割合が増加する一方、40代が減少傾向にあり、約3割強を占める。

【表5】 就農時年齢別のUターン就農者数

(上段：人、下段%)

区分	34歳以下		35~39	40~45	46歳以上	不明
	29歳以下					
累計	5,385	/	651	331	139	28
6,534人	82.4		10.0	5.1	2.1	0.4
近5年	746	502	171	102	59	5
1,083人	68.9	46.4	15.8	9.4	5.4	0.5
<b>R3</b>	<b>129</b>	<b>84</b>	<b>42</b>	<b>17</b>	<b>15</b>	<b>0</b>
203人	63.5	41.4	20.7	8.4	7.4	0.0

※累計はH6～R3の合計(近5年はH29～R3の合計)

【表6】 就農時年齢別の新規参入者数

(上段：人、下段%)

区分	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	不明
累計	581	1,155	623	236	83	61
2,739人	21.2	42.2	22.7	8.6	3.0	2.2
近5年	80	248	202	35	11	34
610人	13.1	40.7	33.1	5.7	1.8	5.6
<b>R3</b>	<b>17</b>	<b>57</b>	<b>39</b>	<b>7</b>	<b>2</b>	<b>6</b>
128人	13.3	44.5	30.5	5.5	1.6	4.7

※累計はS45～R3の合計(近5年はH29～R3の合計)

(6) 新規参入者の出身地別の内訳【表7】

- 地域別では、道内出身者が全体の6割を占めている。道外からの新規参入者は、関東の出身者が多い。

【表7】 新規参入者の出身地別内訳

(上段：人、下段%)

区分	北海道	東北	北陸	関東	東海	近畿	中国	四国	九州	海外	不明	合計
累計	1,402	84	31	502	125	292	56	21	76	15	135	2,739
	51.2	3.1	1.1	18.3	4.6	10.7	2.0	0.8	2.8	0.5	4.9	100.0
近5年	344	12	6	89	15	59	12	2	12	7	58	616
	55.8	1.9	1.0	14.4	2.4	9.6	1.9	0.3	1.9	1.1	9.4	100.0
<b>R3</b>	<b>78</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>19</b>	<b>0</b>	<b>13</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>9</b>	<b>128</b>
	60.9	0.8	0.8	14.8	0.0	10.2	1.6	0.0	3.1	0.8	7.0	100.0

※累計はS45～R3の合計

(7) 新規参入者の投資額及び経営面積【表8】【表9】

- 新規参入者が就農に要した初期投資額は、1000万円～3000万円が1割強と最も多くなっている。
- 経営形態別には、畑作では1000万円～3000万円が最も多く、酪農では1億円以上が最も多くなっている。
- 経営面積については、野菜で小さく、酪農で大きい傾向にある。

【表8】 新規参入者の投資額

(上段：人、下段%)

	500万円以下	500万円～1000万円	1000万円～3000万円	3000万円～5000万円	5000万円～7000万円	7000万円～10000万円	1億円以上	不明	合計件数	平均経営面積(ha)
	稲作	1	0.0	1	1	0.0	0.0	0.0		
畑作	0.0	0.0	2	0.0	0.0	0.0	1	6	9	61.6
野菜	6	4	9	2	0	0.0	2	31	54	5.0
果樹	2	4	4	0.0	0.0	0.0	0.0	8	18	3.2
花き	0.0	1	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	1.0
酪農	2	0	1	6	2	3	9	3	26	50.1
肉牛	1	2	1	3	7.7	11.5	34.6	11.5	2	4.3
養鶏	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-
軽種馬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	2	8.5
その他	0.0	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	1.7
合計	12	13	19	12	2	3	12	55	128	
	9.4	10.2	14.8	9.4	1.6	2.3	9.4	43.0		

【表9】 新規参入者の経営面積

(上段：人、下段%)

	1ha以下	1.1ha～5.0ha	5.1ha～10.0ha	10.1ha～30.0ha	30.1ha～50.0ha	50.1ha～100.0ha	100.1ha以上	不明	合計件数	平均経営面積(ha、調整)
	稲作	0	2	0	3	1	0	0		
畑作	0	3	1	1	2	0	2	0	9	61.6
野菜	21	24	2	1	0	0	1	5	54	5
果樹	4	12	1	0	0	0	0	1	18	3.2
花き	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1.0
酪農	0	3	0	4	5	12	0	2	26	50.1
肉牛	0	6	1	0	0	0	0	2	9	4.3
養鶏	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-
軽種馬	0	0	2	0	0	0	0	0	2	8.5
その他	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1.7
合計	27	52	7	9	8	12	3	10	128	
	21.1	40.6	5.5	7.0	6.3	9.4	2.3	7.8		

### 3 その他

#### (1) (公財) 北海道農業公社による就農促進活動状況

##### ア 就農相談活動【表 10】

- (公財) 北海道農業公社への令和3年度の相談人数は517人(対前年比95.0%)となっている。近年は約4分の1が女性からの相談となっている。

【表10】(公財)北海道農業公社への相談状況

(単位：人)

年度	新規就農相談				農業体験実習相談				無料職業紹介 (H21開始)				計			
	道内	道外	計	うち女性	道内	道外	計	うち女性	道内	道外	計	うち女性	道内	道外	計	うち女性
H28	233	282	515	120	29	29	58	25	9	23	32	8	271	334	605	153
29	236	266	502	127	17	38	55	22	10	8	18	3	263	312	575	152
30	266	328	594	164	14	27	41	14	13	15	28	7	293	370	663	185
R1	287	297	584	136	20	53	73	30	1	4	5	1	307	350	657	166
2	293	227	520	133	12	12	24	7	3	4	7	2	305	239	544	140
<b>3</b>	<b>220</b>	<b>282</b>	<b>502</b>	<b>129</b>	<b>6</b>	<b>9</b>	<b>15</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>226</b>	<b>291</b>	<b>517</b>	<b>132</b>

資料：(公財)北海道農業公社調べ

##### イ ホームページアクセス件数【表 11】

- (公財) 北海道農業公社の令和3年度のホームページのアクセス件数は、15万5,524件(対前年比93.8%)となっている。

【表11】(公財)北海道農業公社のHPアクセス件数

(単位：件)

年度	アクセス数	年度	アクセス数
H24	151,282	29	148,049
25	132,891	30	190,222
26	172,037	R1	244,162
27	112,148	2	165,838
28	127,879	<b>3</b>	<b>155,524</b>

※HP開設：平成11年

#### (2) 農業次世代人材投資資金の交付状況【表 12】

- 令和3年度の農業次世代人材投資資金は、準備型で123人、経営開始型で565人、合計688人が交付を受けている。
- 交付対象者は非農家出身者の割合が高く、準備型で8割弱、経営開始型で8割弱となっている。

【表12】農業次世代人材投資資金の交付状況

(単位：人、%)

年度	準備型								
	学生			社会人			計		
	非農家出身	農家出身	計	非農家出身	農家出身	計	非農家出身	農家出身	計
H29	27 36.0	48 64.0	75 100.0	158 97.5	4 2.5	162 100.0	185 78.1	52 21.9	237 100.0
30	29 50.0	29 50.0	58 100.0	127 92.7	10 7.3	137 100.0	156 80.0	39 20.0	195 100.0
R1	24 40.0	36 60.0	60 100.0	101 91.8	9 8.2	110 100.0	125 73.5	45 26.5	170 100.0
2	54 62.1	33 37.9	87 100.0	57 82.6	12 17.4	69 100.0	111 71.2	45 28.8	156 100.0
<b>3</b>	<b>17 54.8</b>	<b>14 45.2</b>	<b>31 100.0</b>	<b>81 88.0</b>	<b>11 12.0</b>	<b>92 100.0</b>	<b>98 79.7</b>	<b>25 20.3</b>	<b>123 100.0</b>

年度	経営開始型			合計
	非農家出身	農家出身	計	
H29	434 70.3	183 29.7	617 100.0	854
30	449 77.7	129 22.3	578 100.0	773
R1	444 78.3	123 21.7	567 100.0	737
2	466 79.8	118 20.2	584 100.0	740
<b>3</b>	<b>447 79.1</b>	<b>118 20.9</b>	<b>565 100.0</b>	<b>688</b>

※準備型は(公財)北海道農業公社から、経営開始型は各市町村から交付されている。  
※令和3年度の準備型より、就職氷河期世代の新規就農促進事業を含む。

問い合わせ先：農政部技術普及課担い手対策係

(内線 27-818, 27-819)